

白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略：「人口ビジョン」及び「総合戦略」の体系（平成28年7月26日現在）

人口ビジョン		総合戦略				
将来展望	テーマ	都市づくりの重点戦略	基本目標・数値目標(別紙1参照)	施策の方向性	具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)
<p>白石市人口の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総人口は減少傾向にあり核家族化が進行 ○生産年齢人口の割合は概ね横ばいであるが、少子高齢化が急速に進展 ○自然減（出生数-死亡者数）が進行 ○合計特殊出生率は1.36で、概ね低下傾向にあり、宮城県平均1.29よりは高いが全国平均1.38より低い。 ○社会動態は転出超過が継続 ○総人口が減少傾向にある中、白石地区の構成比が一貫して高い ○人口移動の状況は、転出・転入とも仙台市が最も多い。 	<p>人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり</p>	<p>交流を育む地域の人材力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの心の磨き上げと蓄積 ・伝統的な知恵、技の継承と価値の向上 ・地域づくりマネージャーの育成 	<p>【基本目標1】産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちづくり —白石市において安定した雇用を創出する—</p> <p>既存企業のニーズの把握をもとに、企業存続の支援に努めるとともに、創業・起業支援と人材育成に取り組み、地元雇用の確保・拡大を推進します。</p> <p>数値目標：年間就職件数の増加 市内事業所従業員数の増加</p>	<p>【施策①】 雇用確保と創業・起業のための支援の充実</p> <p>【施策②】 若年層に対する人材育成の支援と地元就職・地元居住の確保</p> <p>【施策③】 農林業生産の6次産業化促進と担い手の育成・確保</p>	<p>①白石市公式ホームページのリニューアル ②伝統産業映像アーカイブの作成と活用 ③創業・起業、事業拡大等支援窓口の設置 ④新規出店の総合的支援</p> <p>⑤伝統工芸品の後継者の育成 ⑥進学応援奨学金制度の創設 ⑦実践力育成インターンシップの推進</p> <p>⑧6次産業化促進による新たな産品開発と販路の拡大 ⑨地域農林業の「見える化」促進 ⑩農林業体験事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市公式ホームページアクセス数 ・白石蔵王駅内振興施設入館者数 ・創業相談件数 ・後継者育成支援事業申請数 ・進学応援奨学金貸付人数 ・インターンシップ参加人数
<p>将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然増減の影響度：中位3 ○社会増減の影響度：中位3 <p>※白石市では、自然増減の影響度、社会増減の影響度ともに中位の「3」であり、出生率を上昇させる施策、人口の社会増をもたらす施策を併せて実施することが人口減少傾向を抑制する上で、より効果的</p>		<p>交流を生かし、創造する白石ブランドの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしを支えるコミュニティの強化 ・地域産業の活性化による雇用の拡大、創造 ・交流から生まれる新たな定住・移住の推進 	<p>【基本目標2】市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまちづくり —白石市への新しい人の流れをつくる—</p> <p>新たな産業の誘致に伴う定住・移住を推進するとともに、白石城を中心とする多彩な地域資源を徹底活用した観光交流に注力し、来街を契機に定住・移住につなげていきます。</p> <p>数値目標：年間観光入込客数の増加 年少人口及び生産年齢人口の増加</p>	<p>【施策①】 地域資源をフル活用した着地型観光による交流人口増の実現</p> <p>【施策②】 広域連携による観光振興事業の展開</p> <p>【施策③】 定住・移住支援策の拡充</p>	<p>①「白石城」等観光資源のPRの拡充 ②豊かな自然を生かした体験事業の推進 ③スポーツ・レジャー振興による交流人口の拡大 ④市民主体による地域発見プロジェクト等に対する支援</p> <p>⑤広域連携による観光振興事業の推進</p> <p>⑥定住・移住促進策の拡充 ⑦将来の夢を見つけ実現を支援する施策展開 ⑧若者の仲間づくり支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験事業参加人数 ・白石城関連施設入館者数 ・市公式ホームページアクセス数 ・白石城天守閣入館者数 ・外国人観光客のWi-Fiスポットアクセス数 ・東北新幹線白石蔵王駅1日当たり乗車人数 ・市外からの移住世帯数 ・定住世帯数
<p>将来展望人口 2060年(H72)：21,585人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合計特殊出生率が国の目標水準（2020年：1.6、2040年：1.8、2060年：2.1）まで高まるような出産子育て支援をはじめとする施策の充実。 ○若者のUIJターンの促進や子育て世代の定住促進など、施策誘導による社会減の改善。（年少・生産年齢人口が2015-2020年の5年間で100人増、2020年以降は5年毎で150人増を見込む。） 		<p>交流を支えるネットワーク基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある「白石イメージ」の確立 ・地域資源のフル活用と観光交流基盤の整備 ・豊かな自然環境と景観の保全 	<p>【基本目標3】安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまちづくり —若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる—</p> <p>子育て家庭の経済的負担の解消や小児医療や保育など、まちぐるみで保育・子育て支援サービスの充実に努め、安心して子育てができるまちを実現します。</p> <p>数値目標：本市の合計特殊出生率の上昇 子どもを産み育てやすい環境だと感じる市民割合の上昇</p>	<p>【施策①】 地域における子育て支援の充実</p> <p>【施策②】 乳幼児及びその保護者の健康の維持・増進</p> <p>【施策③】 学校教育環境の整備と家庭・地域の教育力の向上</p>	<p>①子育て支援情報の提供・充実 ②子育て生活環境の充実 ③子育て世帯が楽しめる遊び場づくりや観光地づくり</p> <p>④出産・子どもの医療の支援の拡充</p> <p>⑤児童・生徒の学力向上のフォローアップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内出生者数 ・屋内遊び場利用者数 ・市公式ホームページアクセス数
			<p>【基本目標4】美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまちづくり —時代にあった白石市をつくり、安心な暮らしを守る—</p> <p>市内9地区において身近な生活拠点を形成し、同時に、各地区をネットワークする公共交通・情報網を構築することで、車がなくても暮らしやすいまちを実現します。</p> <p>数値目標：白石に住みたい・住み続けたいと思う市民の割合の上昇 公共施設等総合管理計画への理解度の上昇</p>	<p>【施策①】 身近な暮らしを支える地区生活拠点の形成</p> <p>【施策②】 市内交通・情報ネットワークの構築</p> <p>【施策③】 地域特性を生かした都市環境の整備</p>	<p>①空き家等の対策・活用の促進 ②地域おこし協力隊の活用による地域協力活動の推進</p> <p>③白石市公式ホームページのリニューアル ④地域公共交通網形成計画の策定 ⑤新庁舎の建設に向けた準備</p> <p>⑥遊休地・未利用地の活用推進 ⑦白石市の顔として白石駅周辺整備の検討 ⑧立地適正化計画の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定住世帯数 ・市外からの移住世帯数 ・東北本線白石駅1日当たり乗車人数 ・市民バス延べ利用者数 ・市公式ホームページアクセス数